

令和3年度 京の川の恵みを活かす会 事業実施報告

■多様な魚種のための道づくり

◎三条落差工に仮設魚道を設置

日 時：令和3年3月27日（土） 9:30～13:00

場 所：三条落差工・右岸（京都市中京区石屋町） 参加者：22名

内 容：9時30分に集合し、図面をもとに作業を開始した。右岸には観光客が多く訪れるため、昨年と同様、魚道を遡上するアユを市民や観光客が観察できるような魚道とした。今回の魚道製作は、「公益財団法人 日本釣振興会」から寄付金を受けたため、新型の「幅広階段式横向き据付け箱型魚道」を新設した。



◎丸太町落差工に仮設魚道を設置

日 時：令和3年6月21日（月） 9:30～13:30

場 所：丸太町落差工・右岸（京都市上京区）

参加者：18名

内 容：丸太町落差工については、令和2年から右岸側に設置場所を変更し、スギの角材を使った「木組み階段式箱型魚道」を設置した。



◎荒神口落差工に仮設魚道を設置

日 時：令和3年6月22日（火）9:30～13:00

場 所：荒神口落差工・右岸（京都市上京区上生州町）

参加者：17名

内 容：午前9時30分に集合し、図面をもとに作業を開始した。丸太町落差工に設置した木組み箱型魚道に斜路を付けた「木組み斜路式箱型魚道」を設置した。斜路に付ける丸太の配置については、「斜め切り丸太付き斜路」を作製し箱型魚道に設置した。





◎魚類遡上調査を実施

日 時：令和3年5月30日（日）～7月31日（土）

場 所および参加者：

今井堰（京都市伏見区竹田青池町）

調査協力者数：のべ38名

桂川3号井堰（京都市右京区・西京区）

調査協力者数：18名

合計：のべ56名

内 容：鴨川及び桂川の天然アユ等の遡上状況を把握するため、遡上する魚類数の調査を行った。大阪湾から鴨川に遡上してくる魚類の総数を表すのに重要な今井堰においては、活かす会会員の京淀川漁協の皆さまを中心に調査員が配置された。



また桂川3号井堰では、保津川漁協の皆様を中心に井堰において遡上調査に加えて、魚類の汲み上げ調査も行った。今年も、新型コロナウイルス感染症のため調査できる日が例年に比べ少なくなったことが結果に表れた。結果は、今井堰1、555尾、桂川の3号井堰で109尾であった。



◎三条落差工仮設魚道を撤去

日 時：令和3年10月25日（月） 9:30～11:30

場 所：三条落差工・右岸

参加者：15名

内 容：雨天の中、三条魚道の撤去を行うとともに、魚道設置場所付近の清掃活動を併せて実施した。





◎荒神口落差工仮設魚道を撤去

日 時：令和3年10月25日（月） 12:00~14:00

場 所：荒神口落差工・右岸

参加者：15名

内 容：午前中に三条魚道を撤去した後、引き続き荒神口魚道の撤去を行った。



◎丸太町落差工仮設魚道を撤去

日 時：令和3年10月27（水） 10:00～13:00

場 所：丸太町落差工・右岸

参加者：14名

内 容：魚道の撤去を行った



◎荒神口落差工に仮設魚道を設置

日 時：令和4年3月15日（土） 9:30～12:30

場 所：荒神口三条落差工・右岸（京都市上京区上生州町）

参加者：18名

内 容：9時30分に集合し、図面をもとに作業を開始した。丸太町落差工に設置した木組み箱型魚道に斜路を付けた「木組み斜路式箱型魚道」を設置した。斜路に付ける丸太の配置については、「斜め切り丸太付き斜路」を作製し箱型魚道に設置した。今回の魚道製作にも昨年同様「公益財団法人 日本釣振興会」から寄付金を受けたため、多くの材料を新たに製作することができた。



◎アユの流下仔魚調査

日 時：令和3年11月20日（土） 18:00～23:30（1回目）

令和3年11月27日（土） 18:00～23:30（2回目）

場 所：桂川・天王山大橋及び宇治川及び木津川・御幸橋（八幡市）（1回目、2回目）

参加者：1回目 8名、2回目 8名

内 容：桂川の天王山大橋上と宇治川・木津川の御幸橋上において、新村氏が考案した流下仔魚ネットを使って5回づつ調査を行った。



■水生生物のすみかづくり/内水面の生態系の維持・保全

◎ゴリの産卵床造成とモニタリングを実施

日 時：令和3年7月18日(日) 10:00~12:00

令和3年7月25日(日) 10:00~12:00

場 所：鴨川出町柳（鴨川デルタ）

参加者：1日目 13名、2日目 5名

内 容：これまでに調査した結果により、ゴリの産卵床造成に適した場所や石の配置間隔や方法を講習し、その後実際に川の中で産卵床造成活動を行った。

1週間後、ゴリの産卵床に実際に産卵がされているかを確認してきた。

